



## 2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社ピアズ  
 コード番号 7066 URL <https://peers.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑野 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部部長 (氏名) 栗田 智代  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6811-2211

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,387	78.7	187	61.2	214	65.6	103	51.3
2020年9月期第3四半期	3,031		306		326		201	

(注)包括利益 2021年9月期第3四半期 102百万円 ( 50.7%) 2020年9月期第3四半期 201百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	45.65	42.87
2020年9月期第3四半期	90.75	84.38

(注)2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	3,092	2,170	70.2
2020年9月期	3,138	2,136	68.0

(参考)自己資本 2021年9月期第3四半期 2,169百万円 2020年9月期 2,134百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		30.00	30.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)直近に公表されている期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,340		70		100		69		30.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動に該当ませんが、株式会社Qualiagramを新規設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間より子会社5社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期3Q	2,265,300 株	2020年9月期	2,265,300 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年9月期3Q	105 株	2020年9月期	0 株
------------	-------	----------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期3Q	2,265,240 株	2020年9月期3Q	2,222,771 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対する緊急事態宣言の再発令、まん延防止等重点措置の適用によって、経済活動が制限される等の厳しい状況が続きました。ワクチンの普及により感染拡大の収束が期待されますが、依然として先行きは不透明な状態が続いております。引き続き、感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視していく必要があります。

そのような中、当社グループは、「New Normal Acceleration～いつかの未来を、いつもの日々に」をコンセプトに掲げ、新たなモノ・コトを積極的に活用していくための活動を社会に広げていくことに取り組んでおります。これまでは、通信業界をメインステージに事業を展開しておりましたが、中期戦略において、小売・飲食・サービスを対象に世界中の新しいテクノロジーを活用したDXを通じて生産性向上を支援するリテールテック領域へと事業領域の拡大を行っております。

主要なサービスの提供先である通信キャリアの店頭チャネルにおいても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、従来の店舗運営の在り方から大きな変化が求められる中、デジタルを活用した新たなオペレーションの設計、導入支援の需要が増加しました。環境変化に対応するため、オンライン上で非対面型の接客を行うオンラインヘルパーをはじめとした新しい形式でのサービス提供を行っております。

従来オフラインで提供していたサービスをオンライン化して提供することで収益性を改善する一方で、中長期での利益の最大化を行うためリテールテック領域への事業投資を強化しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,387百万円（前年同期比21.3%減）、営業利益187百万円（前年同期比38.8%減）、経常利益214百万円（前年同期比34.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は103百万円（前年同期比48.7%減）となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ321百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が628百万円減少した一方、売掛金が219百万円増加したことによるものであります。

#### （固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は478百万円となり、前連結会計年度末に比べ276百万円増加いたしました。これは、主に無形固定資産が141百万円、有形固定資産が69百万円増加したことによるものであります。

#### （流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は422百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは、主に短期借入金が200百万円減少した一方、買掛金が114百万円増加したことによるものであります。

#### （固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は500百万円となりました。内訳は、長期借入金が500百万円であり、前連結会計年度末より変動はありません。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,170百万円となり前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が35百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、現時点では2021年5月14日に公表いたしました業績予想から修正はありません。

2021年9月期においては新型コロナウイルス感染症の影響が継続すると仮定しており、業績予想数値もその予想を反映した内容となっておりますが、今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

なお、当該業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,526,229	1,897,584
売掛金	286,619	505,795
電子記録債権	94,260	133,699
その他	28,013	83,501
貸倒引当金	-	△6,996
流動資産合計	2,935,122	2,613,585
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	14,655	54,088
工具、器具及び備品(純額)	3,198	33,716
その他(純額)	182	45
有形固定資産合計	18,036	87,851
無形固定資産		
ソフトウェア	45,111	41,148
ソフトウェア仮勘定	-	149,268
のれん	22,307	18,961
無形固定資産合計	67,419	209,378
投資その他の資産		
投資有価証券	1,977	51,977
長期貸付金	27,984	27,737
繰延税金資産	23,360	41,809
敷金	48,787	58,524
保険積立金	21,493	23,889
その他	37	560
貸倒引当金	△6,170	△22,737
投資その他の資産合計	117,469	181,762
固定資産合計	202,925	478,992
資産合計	3,138,048	3,092,578
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,681	201,959
短期借入金	200,000	-
未払金	42,497	49,425
未払費用	45,309	48,002
未払法人税等	60,775	64,379
預り金	12,949	17,187
賞与引当金	21,900	28,200
その他	30,662	13,301
流動負債合計	501,773	422,456
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
固定負債合計	500,000	500,000
負債合計	1,001,773	922,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,212	438,212
資本剰余金	403,212	403,212
利益剰余金	1,293,282	1,328,742
自己株式	-	△230
株主資本合計	2,134,706	2,169,936
新株予約権	184	184
非支配株主持分	1,382	-
純資産合計	2,136,274	2,170,121
負債純資産合計	3,138,048	3,092,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,031,802	2,387,523
売上原価	2,321,502	1,631,958
売上総利益	710,299	755,564
販売費及び一般管理費	403,975	568,131
営業利益	306,324	187,432
営業外収益		
受取利息及び配当金	402	626
助成金収入	27,440	52,622
その他	255	2,268
営業外収益合計	28,098	55,516
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	6,170	23,562
支払利息	1,500	2,025
支払手数料	-	2,368
その他	94	730
営業外費用合計	7,765	28,686
経常利益	326,657	214,262
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益	326,657	214,262
法人税、住民税及び事業税	131,344	130,677
法人税等調整額	△5,901	△18,449
法人税等合計	125,443	112,227
四半期純利益	201,213	102,035
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△496	△1,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,710	103,418

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	201,213	102,035
四半期包括利益	201,213	102,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,710	103,418
非支配株主に係る四半期包括利益	△496	△1,382

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や企業活動に甚大な影響を与えており、依然として国内経済は先行き不透明な状況が続くものと推測しておりますが、当社グループの業績に与える影響については、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更は現在ありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動に該当しませんが、株式会社Qualiagramを新規設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間より子会社5社を連結の範囲に含めております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報に係る記載を省略しております。